

令和四年度 練馬区立開進第一小学校学校経営計画（040406提示）

<p>教育 目標</p>	<p>—ともに生きる— ○かしこい子 ○やさしい子 ○たくましい子</p>	
<p>目指す 学校像</p>	<p>① <u>原点回帰～今と未来を見据え、『新しい教育様式』を創造する学校</u> ② <u>日々の幸～日常を重視し、質の向上に懸け、授業を核として、生涯に渡る学習が子ども自らの手に渡る手だてを尽くす学校</u></p>	
<p>今年度 の 配慮点</p>	<p><u>ア GIGAスクール進展（量から質へ、授業限定から家庭学習・読書へ、行事から日常へ、ノートからタブレットへ、参集からリモートへ、形式研究から日常展開へ、オリパラからオリレガへ）</u> <u>イ 140周年完遂（源流を振り返り、未来を見据える学びへ）</u> <u>ウ 教育の質を高める働き方改革の継続（義務教育観の見直し、業務量の見直し）</u></p>	
<p><u>開一の歩んだ教育の心</u></p>	<p>—開 智 以 進 徳—（明治15年） 【校訓】（明治38年） 1 からだを丈夫にして 学問にはげめ 2 心をおちつけ むだぐちをきくな 3 元気よくつとめて しんぼうせよ 4 何事にも正直にせよ 5 しんせつにして 礼儀を守れ 6 自分のなすべき事は人にたよるな 7 世のため人のためになることをせよ</p>	<p>教育目標（昭和39年） 1 基礎学力を身につけ正しい判断ができ、何事にも進んでやりぬくことのできる子どもを育てる。 2 友だちと仲よくし、礼儀正しく、きまりを守り民主的な社会人となれる子どもを育てる。 3 心身共に健康で美しく情操豊かな子どもを育てる。</p> <p>教育目標（昭和51年） 自分（たち）の問題は自分（たち）で解決できるこども 深く考えることのできるこども 思いやりのあるこども 丈夫な体のこども</p>

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策		高度に達成	概ね達成	保護者評価	児童評価
○学習指導	生涯にわたる学習習慣を確立と基礎基本の定着・活用への意欲の伸長	○学力向上の総合的な取組の推進 OGIGA SCHOOLの実現	★算数・校内研究を生かした焦点化された授業によって、学びに向かう力を培う。	・毎月1度以上実践	○必要感のある課題の設定と活発な発表や思考を伴った展開	・児童によるまとめの終末	（評定 める授業や取組が行われているか。） □①学力や学ぶ意欲を高める	（評定 □①わかる授業）
			★短時間継続国語授業を生かして国語力・集中力を高める。	・15分週3回の集中	○具体と抽象の調和ある短作文	・漢字の習得と短作文の慣れ		
			★保護者と協力して家庭学習習慣と読書習慣を確立する。	・学年等にて要領の明示	○自学等への発展	・低20分・中40分・高60分の実績		
			★タブレットの常時利活用を図る。	・計画の実行と成果周知	○授業における情報共有等の活用	・毎日のドリルパーク等利用		
○生活指導	やすらぎとほろあいのある学校生活の確立	○子どもと担任、子どもと専科教員のふれあいに帰着 ○ユニバーサルデザイン教育と特別支援教育の完遂	★「徳進以智開」の心を踏まえて、学習規律・生活規律の確立を図る。	・1期指導 ・2期定着 ・3期発展	○児童が自主的に授業に臨む	・安定的な授業となる ・移動時に椅子を入れる	（評定 送ることができているか。） □②安心して生活を送ることができる学校である	（評定 □②楽しい学校）
			★肯定的な評価観に基づき児童・保護者との信頼関係の確立を図る。	・厳しくも親身になった指導や対応	○安定的な学級経営・専科経営の実現	・説明等を行うことにより教育に対して理解を得ることができる		
			★ユニバーサルデザイン教育と特別支援教育配慮を生かした児童指導を行う。	・理解への努力 ・配慮の実践	○学級に顕在化する配慮を要する児童の安定化	・教育のユニバーサル化への努力		

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策		高度に達成	概ね達成	保護者評価	児童自己評価 書 □①あいさつ □②きまり約束 □③家庭学習 □④読
○学校運営	公教育の使命を超えた夢ある学校づくり	○働き方改革を踏まえた重点化・精選化による分掌の完遂 ○日常的なOJT等若手・中堅・ベテランの資質向上	★業務量を不断に見直して、働き方改革の実効性を高める。	・1期着手 ・2期達成 ・3期発展	○全校的に好影響を波及させる ○SS点が全国平均・区平均以下	・当初目標の完遂 ・SS点が前年度より低下	かて（評 。子定 ）ど もの □③ 成行 長事 が等 見の ら活 れ動 をを 通し	
○特別活動・その他	練馬区東部教育発祥の地に根差した教育の展開	○新しい教育様式に伴う実を重んじた行事の集約・厳選及び行事の心の日常化 ○140周年の意義を踏まえた学ぶ心・生きる力の育成	★躍動・体育と創造・ <u>図画工作</u> を軸とした文化を感じる行事を展開する。	・児童の意欲を引き出す仕掛け	○表現運動発表会・ <u>校舎内展覧会</u> の創意	・安全、安定した行事の実行		
			★はりあいとあこがれ、自己有用感と達成感がもてる異年齢集団活動や学級学年活動を実践する。	・既計画の実践 ・新たな仕掛けの創造	○はりあいとあこがれをもつ児童評価を3事例以上集約	・計画の確実な実践		
○環境整備	先を見通した教育活動の支援と先駆	○区民の期待に応える職務執行の厳正・適正化	★140周年の意義を踏まえ、諸事業を展開する。	・毎月確認	○ <u>ホームカミングデー</u> につながる諸事業の展開	・式典、児童集会、記念誌、環境整備、予算管理、渉外の進展	る給安（評 か食心定 。がな ）提施 供設 さ・□④ れ環安 て境全 いや・	
			■安全・安心・バランスの取れた食の提供 ■安全・安心・整理された環境づくり ■重点的・効果的な予算執行	・6月・11月・2月に効果検証	○より教育活動を充実させるとともに、近隣と調和するよう、先手を打った対応をする。	・委託調理の安定化 ・教育活動に支障を来さない。		